

特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
2018 年度事業報告
(2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日)

I. 年間の活動のまとめ

NPO 法施行 20 周年を機に、NPO の“これまで”と“これから”を考えた 1 年だった。社会変革を意識した活動が減少する中、収益につながる事業型の活動の躍進によって、NPO 法施行から活動してきた NPO が「伝統的 NPO」といわれ、いかにも古臭い、遅れた活動と、見ている向きもある。だからこそ、自主、自発の市民活動が冷え込んでしまい、NPO が活動する社会の根幹である民主主義の価値観がどんどん後退しているという危機感を感じている活動家も多い。これらを背景として、当法人は東北の NPO 支援組織と協力して、NPO について再度考えてみる機会として 20 周年記念イベントを実施したことは、大きな意義があった。

また、昨年は、休眠預金等活用に関する制度の学びや配分の仕組みの疑問などについて全国の NPO 支援組織などの NPO と意見交換をする場に参画してきた。しかし、全体として中央の関係団体には影響を与えたが、地元の NPO に対して巻込むまでには至らなかった。

当法人としての活動では、1997 年 6 月から月刊で発行してきた市民活動情報誌「杜の伝言板ゆるる」が、創刊から 250 号を区切りとして 2018 年 3 月に卒刊した。それでも「情報発信を基軸として」いる NPO として、多くの NPO からの情報の発信支援に応えることや組織の運営に必要とする助成金情報の発信に期待があることから、その後、「みやぎ NPO・市民活動情報紙ゆるる info」を発行した。

しかし、それらの継続に向けて検討したが、今後、発信意欲のある人材不足と資金不足が想定されることから、ゆるる事務局担当の事業として継続することをあきらめ、2019 年 3 月で廃刊することにした。

一方で、自前の発信媒体は持たないものの、地元紙の夕刊に毎週（休刊日を除く）「NPO の杜」のコーナーを託されていることは、法人のミッションを大事にした活動になっている。「NPO の杜」が始まってからこれまでの 2 年半、このコーナーの執筆を担当してきた職員は、NPO の存在を必要とする課題の認識とそれを市民に伝える難しさを感じつつ、文章に磨きをかけてきたことは、大きな学びを得る機会となっている。

また、昨年春に、経験を積んだ職員が複数退職した影響は大きく、今年度も実施した仙台市との協働事業や宮城県の委託事業を実施する際、痛手となったことは事実である。事務局長でもある代表は、経験 1 年未満の職員 2 人とともに実務に当たったが、これまでと同様に業務を遂行できたとは言えない状況であった。先を見た人材育成と世代交代は、まさに近々の課題となっている。

■2018 年度重点目標に対しての活動

1. 次世代を担うリーダーの育成及び体制づくり

昨年の総会で、初めて職員から理事が誕生した。その意欲にこたえ、昨年あったみやぎ NPO プラザの指定管理者募集に対して、応募申請の一切を託したところ、採択の結果を得たことは大きな成果となっている。

一方、事務局体制の強化と情報発信意欲を持つ人材の発掘は、未知数である。これからの NPO の基盤強化支援を担っていく組織としては、意識啓発や専門性の取得に向

けて、人材の育成にもっと力を入れていかなければならない。

2. 次世代の自立に向けた組織名変更を検討

自らが主体となって活動するための環境づくりの一環として組織名を変更することを目指していたが、この1年での協議は進まなかった。名称については、次世代に移った時の検討事項として留保する。

3. 法人のキャリアを生かした自主財源を確保するための事業開発

会計や組織診断などの専門性をもって自主事業として拡大していく方針は、そのノウハウをもって支援する人材が足りず、具体化するまでにはなっていない。むしろキャリアを持つ人材が減少したことで、これからの事業開発は、職員の専門性の拡充に時間がかかることから、この方針は継続していく必要がある。

Ⅱ. 活動に関する事項

1. 情報収集と提供

(1) みやぎ NPO 市民活動情報誌ゆるる info の発行事業

NPO を取材して紹介する「月刊杜の伝言板ゆるる」は、2018年3月号をもって卒刊としたが、NPO の情報発信支援を基軸とした当法人の活動趣旨に添い、NPO からの情報発信支援及び NPO にとって有益な情報提供を目的に「ゆるる info」を月刊で発行した。

表紙は、当法人が指定管理をするみやぎ NPO プラザのページとして提供し、Information で提供した情報は、主に「みやぎ NPO 情報ネット」に掲載希望の情報や収集した助成金情報である。

しかし、発行費用の確保が難しいため、2019年3月号をもって廃刊とした。

【みやぎ NPO 市民活動情報誌ゆるる info】

仕 様：A4 版 フルカラー 8 頁

発 行 部 数：毎月 6,000 部

配 布 先：約 631 か所

(県内公共施設、県内及び県外支援センター、他)

協 賛 広 告：東北労働金庫宮城県本部、かほく「108」クラブ

① 「みやぎ NPO プラザページ」(表紙)

宮城県の NPO 支援拠点「みやぎ NPO プラザ」からページとして NPO 関連情報を掲載

【掲載内容】

4月号	みやぎ NPO プラザは花ざかり！プラザの活用法
5月号	ラインダンスを踊ってみませんか 新入居団体紹介 NPO 法人 J-PAL
6月号	エシカルな消費を広めたい！NPO 法人水守の郷・七ヶ宿福幸食堂えしかる
7月号	ショップギャラリーで新たな活動にチャレンジ！事務室で組織力アップ!!
8月号	チラシ・パンフレット・HP 作成 プロがお手伝いします！新入居団体メディアデザイン
9月号	交流サロンで活動のステップアップを！打ち合せや作業に利用
10月号	芸術をもっと身近に♪Art Gallery そあとの庭へ行こう！
11月号	NPO・市民活動に関する相談はみやぎ NPO プラザにおまかせ！
12月号	NPO の実践者から聞く！NPO で活動するヒント
1月号	新たな挑戦と出会いの場に みやぎ NPO プラザ短期ショップ
2月号	ロッカー・レターケースの利用で、円滑な活動を
3月号	NPO の広報や助成金探しをサポート！みやぎ NPO 情報ネット

② 「information」

助成金情報コーナーや各市民活動団体から寄せられるボランティア募集情報等を掲載

【掲載数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
info	17	15	17	18	17	17	17	19	18	18	17	17	207
助成金	5	5	6	6	6	6	5	6	6	6	5	5	67

② 広告協賛

バックページおよび information 下欄を活用し、希望する市民活動団体や企業、行政等に告知ページとして有料で提供した。今回は下記 5 団体のほか、法人事業として、みやぎ NPO プラザ、仙台市 NPO 法人組織基盤強化事業の広報誌面として提供した。

- ・ 真如苑 4月号、5月号
- ・ 福幸食堂えしかる 5月号
- ・ 東北労働金庫 6月号、9月号、12月号、3月号
- ・ 一般財団法人愛知揆一福祉振興会 10月号
- ・ かほく「108」クラブ 3月号

(2) 河北新報夕刊「NPOの杜」の掲載

河北新報社が発行する河北新報夕刊月曜版に NPO に関するコラム「NPOの杜」(5面)のコーナーを担当。ボランティア活動・市民活動の情報発信をミッションの一つに掲げる当法人としては、執筆を担当している。

掲載実績：4/2～3/25 43回

【掲載一覧】

回数	掲載日	タイトル	団体名
69	4月2日	地域とつながれる場所を	けやきグループ
70	4月9日	子どもが自分で作る遊び場	認定 NPO 法人冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク
71	4月16日	NPO法の趣旨は生きているか	
72	4月23日	高齢者に張り合いを	つるがや元気会
73	5月7日	役目終えた制服、次の人へ	グループ根っこ
74	5月14日	外国にルーツを持つ子を支援	外国人の子ども・サポートの会
75	5月21日	楽しくコミュニケーションを	フラワーセラピー研究会仙台地区
76	5月28日	誰も悪くない	With ゆう
77	6月4日	NPOの組織基盤強化	
78	6月11日	学童保育は放課後のおうち	宮城県学童保育ネットワーク
79	6月18日	子どもの喪失体験をサポート	NPO法人子どもグリーフサポートステーション
80	6月25日	パソコン操作の不安解消	「PCコミュニティ」ゆい&I
81	7月2日	演じてみる認知症療法	NPO法人日本演劇情動療法協会
82	7月9日	高校生の夏ボラ体験	
83	7月23日	大人への過程をサポート	NPO法人ほっぷすてっぷ
84	7月30日	難病の悩み まずは相談を	NPO法人宮城県患者・家族団体連絡協議会
85	8月6日	元気な森に再生	仙台市森林アドバイザーの会
86	8月13日	「食」を考える	NPO法人とうほく食育実践協会
87	8月20日	パソコンで通訳	NPO法人パソコン要約筆記文字の都仙台
88	8月27日	休眠預金等活用法の今	
89	9月3日	シニアによるシニアの居場所	NPO法人シニアサロン井戸端会議
90	9月10日	すべての子どもに夢と希望を	NPO法人キッズドア
91	10月1日	「男前」に介護予防体操	NPO法人健康応援・わくわく元気ネット
92	10月15日	変わりゆく東口の魅力を伝える	東口ガイドボランティア「宮城野さんぽみち」
93	10月22日	髪の手入れで子どもたちに笑顔	NPO法人HERO
94	10月29日	NPO法制度の20年	
95	11月5日	子どもを育む地域食堂	NPO法人おりぎの家
96	11月12日	たばこのない社会を	NPO法人禁煙みやぎ

97	11月19日	大切な仙台の宝を守りたい	NPO 法人青葉山の緑を守る会
98	11月26日	いつでも気軽に募金	NPO 法人ハートフル福祉募金
99	12月3日	外国人の暮らしを手助け	外国人支援の会OASIS
100	12月10日	認定NPO法人 知ってる？	
101	12月17日	ビッグイシューで目指す自立	仙台ビッグイシューソサイエティ
102	1月7日	孤独や不安を吐き出して	仙台いのちの電話・みやぎ青葉の会
103	1月21日	予防ケアで外出に自信を	らしく+ (プラス)
104	1月28日	アニマルセラピーで笑顔に	NPO 法人みやぎ動物介在福祉会 With
105	2月4日	音で読書を楽しむ	宮城音訳奉仕会
106	2月18日	回覧板にNPO情報を	
107	2月25日	ITで広がるシニアの世界	認定NPO 法人仙台シニアネットクラブ
108	3月4日	人ごとではない「香害」	みやぎ化学物質過敏症の会びゅあい
109	3月11日	減災の目を光らせる	認定NPO 法人防災・減災サポートセンター
110	3月18日	何もしない支援	NPO 法人ぞうさんの家
111	3月25日	障がい者と企業をサポート	NPO 法人栗原市障害者就労支援センター

2. 人材育成事業

(1) NPO で高校生の夏ボラ体験 2018 プログラム

将来、地域の担い手となる若年層がNPOに出会うきっかけを作るため、2003年から始めた「NPOで高校生の夏ボラ体験」プログラムは、今回で16回目を迎え、通算で1972名の参加者となった。

共 催： かほく「108」クラブ

協 賛： 東北労働金庫

後 援： 宮城県教育委員会 仙台市教育委員会 石巻市教育委員会 名取市教育委員会
岩沼市教育委員会 山元町教育委員会

事前学習会： 7月14日、15日（仙台）、16日（石巻）

体験期間： 7月20日～8月26日

受入団体： 22団体（受入希望団体数は26だったが、マッチング不可および事前学習会当日キャンセルにより）

活動分野内訳： 子ども8団体、国際交流2団体、高齢者1団体、環境1団体、高齢者福祉5団体、ホームレス支援2団体、障がい児・者支援4団体、中間支援2団体、復興支援1団体

体験者数： 90名

参加高校数： 16校

【ボランティア参加日数と人数】

90名中 (2018年度)	1日体験	2日体験	3日体験
	4名 (4.4%)	36名 (40%)	50名 (55.5%)

■ 「NPOで高校生の夏ボラ体験 2018 体験談集」を発行

体験談集仕様：A5判1色115頁 500部

体験談数：65名の体験談を掲載

配布先：参加高校生、受け入れ団体及び協力関係機関

【事業成果】

今年度は、当法人の担当職員の退職により体制が整わなかったことから事業開始が遅れてしまったため、募集要項の配布から応募締め切りや事前学習会開催までの期間も例年よりも短かったが、結果として高校生の参加が 90 名にもなったことは、これまで継続して実施してきた実績が高校の理解を得られ、信頼があったからと推察する。

また、今年度は石巻の団体による実行委員会を設置しての取り組みを想定していたが、中心となる団体が決まらず、結果として主に当法人が事務局を担い、例年通りの運びとなった。

(2) みやぎNPO経営ゼミ

～タケダ・いのちとくらし再生プログラム 組織基盤強化事業（第2期）～

東日本大震災により被災した地域の復興のため、武田薬品工業株式会社からの寄付をもとに「タケダ・いのちとくらし再生プログラム」の第2期の組織基盤強化事業の一環として、認定NPO法人日本NPOセンター（東京）が被災地3県（岩手・宮城・福島）の中間支援組織と協働で実施する事業。

復興に向け被災地で活動している市民活動団体、特に今後を担っていく組織のリーダーを育成し、活動を継続し、他団体との連携強化につなげていくことを目的としている。宮城県ではみやぎNPO経営ゼミと称し、当法人が事務局として運営した。

期 間：2018年5月～2019年3月（全10回）

第3期ゼミ生：5名 5団体

	開催日	ゼミ内容（タイトル、講師名、概要）
1回	5/10	テーマ「ゼミ生を、組織を、自分を知ろう」 →NPOの課題、ゼミ生の課題を認識し、ありたい姿の目標を設定する 講師：大久保朝江（認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる 代表理事）
2回	6/21	テーマ「自分の活動に自信を持つ⇒NPOである意義」 →「NPO組織のあり方研修」・自組織の現状把握ワークショップ・自己のたな卸と今後の目標 講師：手塚明美（認定特定非営利活動法人藤沢市民活動推進機構 副理事長・事務局長）
3回	7/19	テーマ「近3年の計画を立てる」 →「中期計画（3か年）の策定」・ミッション・ビジョンの確認・いかに変化を作り出すか 講師：田口由紀絵（公益財団法人 パブリックリソース財団 事務局長）
4回	9/17・ 18	テーマ「事業の優先順位を立てる」「業務体制と役割分担」 →中期計画を立てる 講師：河合将生（office musubime 代表）
5回	10/26	テーマ：「客観的目線で自分を見る目」「自分の仕事のすみわけをする」 →「客観的目線で自分（と目の前の人）を見る目、自分の仕事のすみわけ（と公私混同）をする」講義 講師：久米信行（久米繊維工業(株) 取締役会長）
6回	12/18	テーマ「いかにスタッフと合意形成を図るか」「いかにスタッフに当事者感を持たせるか」

7回	～ 12/20	→フィールドワーク 訪問先：特定非営利活動法人 SEIN 認定特定非営利活動法人コミュニティサポートセンター神戸 一般社団法人タウンスペース WAKWAK
8回	1/24	テーマ「経営者の資金管理の在り方」 →3年事業計画策定 講師：田尻佳史（特定非営利活動法人日本 NPO センター 特任理事）
9回	2/25	テーマ「業務の積算根拠の認識」 →みやぎ経営ゼミ第1期生の事例発表とケーススタディ ゲスト：太齋京子（特定非営利活動法人奏海の杜 理事長） 柴田滋紀（特定非営利活動法人にじいろクレヨン 理事長）
10回	3/18	テーマ「自分の目標に対しての振り返り」 →ゼミ生の個人発表 コメンテーター：手塚明美（認定特定非営利活動法人藤沢市民活動推進機構 副理事長・事務局長） 吉田建治（特定非営利活動法人日本 NPO センター 事務局長）

【事業成果】

3期生は、4名が気仙沼（本吉含む）、1名が石巻市と比較的近くで活動しており、事前に面識があったため当初より連携が取れている5名であった。体調不良による欠席があり、2名が9回の参加となったが、3名は10回の参加と出席率は高い。

それぞれの団体や各組織のリーダーとして抱えている課題など、ゼミ生5名が共有し、お互いの計画や目標を客観的に話し合う機会を提供することが出来た。

今後も次世代を担う団体の基盤強化を図るため、各組織のリーダーの育成に努める。

（3）平成30年度仙台市協働人材育成事業への協力

仙台市職員をNPO等市民活動団体に派遣することにより、実体験をとおしてNPO等に対する理解を深めるとともに、市民協働に関する理解や必要性の認識を高めることで、庁内で協働を推進する人材を幅広く育成することを目的に行っている事業。当法人は1名を受入れた。

受入状況：公益財団法人せんだい男女共同参画財団1名（女性）

活動日：10月24日～11月7日の期間中に5日間活動

2月1日の報告会にも出席

活動内容：夏ボラ体験談集 編集、校正など

【事業成果】

仙台市職員に、夏ボラ体験談の編集や校正作業を通して、県内で活動するNPOや当団体の役割を理解してもらえた。ボランティアを体験した高校生の声を知ることによって、市民活動への意識をより身近に感じてもらえる機会を提供できた。

3. NPOの組織基盤整備支援事業

（1）平成30年度仙台市NPO法人組織基盤強化事業（仙台市との協働事業）

仙台市内の特定非営利活動法人（NPO法人）の組織運営上の事務能力・コンプライアンス意識

を高めることで、法人の組織基盤を安定したものにし、法人に対する市民の信頼を高め、協働によるまちづくりの担い手としての力の発揮につながることを目的とした事業。仙台市と当法人が主催として協働で実施した。

事業期間：2018年8月8日から2019年3月15日まで

会場：仙台市市民活動サポートセンター、みやぎNPOプラザ

対象：仙台市内のNPO法人

① 講座の開催

実施講座：会計講座、税務講座、労務講座、事務局運営講座 計7回

日時	講座名	講師	参加団体数
10月2日(火) 13:30～15:30	NPOの資金調達まるわかりセミナー	大久保 朝江 (認定NPO法人杜の伝言板ゆるる 代表理事)	15団体17名
10月30日(火) 13:30～15:30	NPOの事務力向上セミナー	大久保 朝江 (認定NPO法人杜の伝言板ゆるる 代表理事)	13団体18名
11月20日(火) 13:30～15:30	共感を得る情報公開セミナー	大久保 朝江 (認定NPO法人杜の伝言板ゆるる 代表理事)	10団体13名
12月6日(木) 13:30～15:30	押さえておきたいNPO法人のための税金の仕組み解説セミナー	田中 武司 (税理士)	10団体10名
1月18日(金) 13:30～16:30	セルフチェックで組織強化セミナー	田口 由紀絵 (公益財団法人パブリックリソース財団 事務局長)	8団体14名
2月6日(水) 13:30～15:30	働く環境を整える労務の基本セミナー	黒政 健 (社会保険労務士)	8団体10名
3月1日(金) 10:00～12:00 13:00～16:00	ここは押さえよう！ NPO会計OneDay集中セミナー	初級編：小野 恵子 (会計サポーター) 中級編：瀧谷 和隆 (認定NPO法人会計税務専門家ネットワーク理事)	初級編 7団体9名 中級編 9団体9名

② 個別相談会の実施

専門家に相談依頼のできない予算規模の脆弱なNPO法人のために、仙台市所管のNPO法人を対象に専門家対応の個別相談会（無料）を開催し、個別の案件に各団体1時間の相談に対応した。

i) 会計・税務相談

相談団体数：9団体

相談員：平野由紀子（税理士）、田中武司（税理士）

ii) 労務相談

相談団体数：4団体

相談員：黒政健（社会保険労務士）

iii) NPO運営相談

相談団体数：3団体

相談員：大久保朝江（認定NPO法人杜の伝言板ゆるる 代表理事）

【事業成果】

アンケートより、セミナーの満足度について「大変満足」「満足」と答えた参加者は90%、相

談会では 100%であった。最新の情報を提供することで参加者にとって意義深いセミナー・相談会となった。

(2) NPO/NGO の組織基盤強化ワークショップを開催

社会課題の解決促進に向けて市民活動が持続的に発展していくためには、「NPO/NGO の組織基盤強化」が必要との共通認識のもと、杜の伝言板ゆるるとパナソニック株式会社及び日本 NPO センターが連携しながら、組織基盤強化の重要性を訴求し定常化を図ることを目的として開催。

開催日時：2018 年 6 月 8 日 13:30～17:00

会場：みやぎ NPO プラザ 交流サロン

参加人数：42 人（スタッフ含む）

共催：パナソニック株式会社、日本 NPO センター

協力：せんだい・みやぎ NPO センター

(4) みやぎ NPO 事務支援センター（会計サポーター派遣）事業

会計の実務処理を有償で請負い、会計の専従スタッフがいない NPO の会計処理をサポートしている。但し、当面は仙台市内の団体を対象とした。

① 支援内容

- ・活動決算書作成や会計処理の指導

会計やお金の管理、仕訳や帳簿の作成に関するアドバイス、会計ソフトの導入支援
活動計算書、注記、貸借対照表等の財務諸表作成のサポートほか

- ・経理事務代行

記帳代行、領収証・請求書整理、決算書作成、会計ソフトの初期設定ほか

② 派遣態勢

- ・通常派遣（単発）

サポート料金：派遣 1 回あたり 3 時間まで 4,500 円（+消費税）、以降 1 時間延長ごとに 1,500 円（+消費税）

会計ソフト初期設定 10,000 円/1 回、決算書作成 10,000 円/1 回

サポーターの交通費は依頼 NPO が実費負担

【2018 年度実績】 派遣団体数：6 団体

派遣回数：8 回

派遣サポーター：3 名

- ・経理事務代行

サポート料金：年間登録料 10,000 円（税別）

訪問 1 回あたり 3 時間まで 4,500 円（+消費税）、以降 1 時間延長ごとに 1,500 円（+消費税）

会計ソフト初期設定 10,000 円/1 回、決算書作成 10,000 円/1 回

サポーターの交通費は依頼 NPO が実費負担

【2018 年度実績】 派遣団体数：3 団体

派遣回数：62 回

派遣サポーター：1 名

【事業成果】

昨年度は事業年度を変更した影響もあってか派遣回数合計 21 回と少なめであったが、今年度は大幅に増えた。多くの NPO が会計についてのサポートを希望していることが伺えるため、できるだけ要望に応えたいが、常に活動しているサポーターは少なく、特に経理事務代行を引き受けられるサポーターの育成が急務である。

4. 調査研究・講師派遣・コンサルティング事業

(1) 講師等の派遣

行政や NPO、社会福祉協議会等からの依頼により、ボランティアや市民活動、NPO 等に関する講演や研修などの講師を派遣した。

月日	派遣先
4月14日	東北文化学園大学講義 講師
5月16日	「行政職員のための NPO 初級講座」 講師
7月18日	いきいき学園仙南校講座 講師
7月20日	宮城県社会福祉協議会「ボランティア業務担当者情報共有会議」事例提供
7月25日	みやぎ NPO プラザ「助成金申請のポイント」 講師
9月7日	東北文化学園大学講義 講師
10月2日	仙台市「NPO の資金調達まるわかりセミナー」 講師
10月28日	名取市市民活動支援センター「なとせんフォーラム」パネラー
10月30日	仙台市「NPO の事務力向上セミナー」 講師
11月9日	みやぎ NPO プラザ「基礎から学ぼう！NPO 法人設立講座」 講師
11月20日	仙台市「共感を得る情報公開セミナー」 講師
1月30日	みやぎ NPO プラザ「認定取得への第一歩！認定 NPO 法人講座」 講師
2月6日	いきいき学園石巻校講座 講師
2月23日	仙台市生涯学習支援センター講座 講師
3月8日	みやぎ NPO プラザ「総会運営講座」 講師

(2) 宮城県 NPO 等の絆力を活かした震災復興支援事業(調査・提案事業) (委託先:宮城県)

宮城県では平成 15 年度以降、5 年度ごとに県内の NPO・市民活動団体の活動実績および意向に関する調査を実施しており、今年度がその実施年度にあたった。当法人は宮城県から今年度の調査事業を委託され、調査を実施し、調査結果を踏まえて NPO 支援施策の提案を行った。

① 調査方法および実施について

本調査は、紙媒体のほか、Web システムによる入力にて実施した。

調査期間：平成 30 年 12 月 1 日時点の状況について、平成 31 年 1 月 11 日まで回答を依頼
調査項目は、以下の通り。

1. 団体の概要について
2. 東日本大震災関連の事業について
3. 団体が抱えている課題等について
4. 協働について
5. NPO 支援施設について
6. 会計基準・情報公開・NPO 運営・NPO 法認定制度について

② 回答回収結果について

依頼件数 (対象団体数)	返戻	有効依頼数	回収数	回収率
1010	142	868	409	47.1%

③ 調査票の検討及び結果に基づく支援策の検討

県内のNPO等に関して見識を有する学識者や復興支援活動を続けているNPO実践者、及び中間支援組織等で構成する5名による「宮城県絆力調査検討委員会」を編成し、調査項目の検討や、集計及び分析に基づいた支援策等を3回にわたり検討した。

④ NPO 支援施策提案

調査結果の分析、および検討委員会の意見交換から、宮城県へ5項目のNPO支援事業を提案した。

(3) 組織診断及び相談・アドバイス対応

NPOの事業や組織運営について個別に相談対応をした。

- ・みやぎNPOプラザ：認定有料相談、運営相談対応
- ・名取市市民活動支援センター：相談対応 2件 1/9 2/28
- ・仙台市NPO組織基盤強化事業「NPO運営個別相談」対応：3件 10/10 11/29 12/5

(4) 仙台市協働事業アドバイザー

①協働まちづくり推進助成事業サポートチーム

仙台市協働まちづくり推進助成の採択団体の進捗や貢献について年間を通して検討し、チームとして仙台市にアドバイスをした。

サポートチーム会議：4/23 5/30 6/21 8/24 10/26 11/15 3/8

② 協働まちづくり推進助成事業サポートチーム主担当業務（仙台市の委託）

期間：2018.5月～2019.3月

サポートNPOの会議に出席：8/9 9/19 10/17 1/16

編集関連や組織運用について助成事業の成果を上げるようアドバイスをした。

(4) 「住友商事 東日本再生フォローアップ・プログラム」の助成採択団体のサポート

認定NPO法人市民社会創造ファンドからの再委託で、助成先となったNPOの助成事業の進捗を現地サポート団体としてヒアリングや相談対応をした。

10月15日 10月29日 11月27日 1月8日

2月7日：助成対象団体交流会（東京）

(5) その他ヒアリング対応

中間支援組織として宮城県内の復興支援のNPO活動に関するヒアリングのほか、NPOの現状や当法人の組織運営に関する調査などに対応した。

- ・1月11日 浜銀総合研究所

内閣府のヒアリング調査（世代交代の課題について）対応

- ・ 10月30日 東北学院大学経済学部共生社会経済学科齋藤康則准教授及びフィールドワーク受講学生
杜の伝言板ゆるるおよびみやぎNPOプラザの事業運営等について

6. 拠点運営支援事業

(1) 宮城県民間非営利活動プラザ（みやぎNPOプラザ）の管理運営

平成17年4月から指定管理者として運営している、宮城県内のNPO活動を総合的に推進するための中核機能拠点「みやぎNPOプラザ」は、平成31年4月から3年間（5期目）の指定管理者が公募され、引き続き杜の伝言板ゆるるが管理運営することに決まった。

平成30年度は、前年度に引き続き、NPOの信頼性を高めるために団体の情報公開を促進するための支援や、次世代のNPO・市民活動の担い手創出に関する取り組み、組織基盤の強化に結び付く事業展開を進めた。

① 施設管理

i) 施設利用状況

	施設見学	ヒアリング	交流サロン	電話問合せ	情報収集・提供	案内・問合せ	会議室申込		閲覧・縦覧等	会議室使用	NPO相談	パソコン利用	作業室	チラシ等依頼	事務ブース利用	ショップ利用	レストラン利用	計
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	電話	来館	人数	人数	人数	人数	人数	件数	人数	人数	人数	人数
H30合計	62	6	8,779	1,815	2,727	1,240	353	784	1	13,732	379	1,719	2,667	1,690	1,487	2,478	4,220	44,139
H29合計	40	2	9,228	1,934	2,245	1,171	421	844	4	14,000	426	1,228	2,561	1,689	2,513	2,031	6,553	46,890

※NPO相談には専門相談を含む

ii) 会議室利用状況

	第1会議室			第2会議室(全面)			第2会議室(分割)			第3会議室			研修室			合計		
	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間
H30合計	293	5,205	1,180	220	4,887	803	167	769	468	140	745	420	290	2,126	924	1,110	13,732	3,795
H29合計	291	5,103	1,179	216	4,701	806	127	780	306	228	1,119	685	305	2,297	929	1,167	14,000	3,905

iii) コピー機・印刷機

	コピー機				印刷機				
	モノクロ(枚)	カラー(枚)	合計(枚)	トナー(本)	利用件数(件)	製版数(枚)	印刷枚数(枚)	インク(本)	マスター(本)
H30合計	10,150	788	10,938	3	881	5,409	1,248,392	74	21
H29合計	10,727	872	11,599	2	930	5,378	1,364,029	83	25

iv) 事務ブース・常設ショップ・レストラン使用団体への支援

事務室や常設ショップ、レストランの利用団体が入居期間中に力をつけていけるよう、施設の使用報告書や利用者懇談会等で活動状況を把握し、課題解決のアドバイスをしたほか、専門相談や講座参加につなげた。

v) 施設見学および運営ヒアリング

10件62名の施設見学に対応し、みやぎNPOプラザの機能を紹介した。

vi) 事務室等使用団体選考審査会

平成30年8月、1月に事務室、ショップスペースの使用団体を公募し、選考審査会において決定した。

② インターネット情報サイト（みやぎNPO情報ネット）運用業務

NPOが主催するイベントやボランティア・有給スタッフの募集情報、NPOに対する助成金情報等の収集と掲載に力を入れた。みやぎNPOプラザ主催の講座や無料専門相談会等のページ、短期ショップの出店情報も随時作成更新し、タイムリーな情報発信に努めた。

i) みやぎNPO情報ネット更新件数

	訪問者数	ページビュー数	トップページアクセス数	新規データアップ				情報の変更・取り下げ	TOP変更・更新	企画事業	相談	団体検索登録	宮城県推進班	国・宮城県・市町村	その他更新	合計	管理日数	バックアップ回数
				ゆるる提供	情報ネット	プラザ窓口	助成金											
H30合計	266,417	3,551,481	75,632	93	281	912	487	3,001	222	131	35	8	28	10	241	5,449	309	60
H29合計	261,591	3,709,783	78,625	160	223	966	443	3,372	199	94	34	14	40	16	249	5,810	316	60

ii) みやぎNPO情報ネットメールマガジン

	NPO支援情報 (トピックス)	プラザからのお知らせ	助成金情報	NPO法人 認証情報	その他	合計
H30合計	47	123	277	32	0	479
H29合計	48	126	258	34	0	466

※H30 登録者数：H29 年度末時点の総登録者数 862 名 + H30 年登録増加数 25 名 = 887 名

iii) みやぎNPOプラザブログ～おむすび日記～

	新規エントリー数						合計
	情報チーム 日誌	NPOプラザの 近況	全館イベント	助成金情報	NPO法人 認証情報	講座レポート	
H30合計	25	132	1	102	10	13	283
H29合計	28	132	3	68	11	14	256

iv) みやぎNPOプラザ Facebook

みやぎNPOプラザの日常の様子や実施講座の告知、ブログの更新状況を拡散する手段として活用し、年間 463 件発信した。

③ みやぎNPOプラザの情報誌編集・発行業務

i) One to One 発行

- ・発行日：年 6 回 奇数月の 1 日
- ・発行部数：3,000 部
- ・仕様：A3 版 2 つ折り フルカラー印刷

ii) みやぎNPO・市民活動情報誌ゆるる info プラザページ

- ・発行日：毎月 1 日
- ・発行部数：6,000 部
- ・仕様：A4 版 8 ページ フルカラー印刷 ※トップページで紹介

※主な配布先

県内各市町村、県地方振興事務所、県内NPO支援施設、プラザ運営評議委員、仙台市内の公共施設、仙台市市民センター、県外のNPO支援施設・団体など

④ NPOの促進・団体の育成等に関する相談業務

i) 専門相談

会計・税務相談：18件（年6回）

認定NPO法人申請相談：2件（随時）

法律相談：6件（年2回）

法人設立・団体運営相談：44件（毎週水曜日）

※1団体1時間、認定NPO法人相談、法律相談は1回1,000円

ii) 窓口相談

窓口や電話での相談は267件あり、随時スタッフが対応した。相談内容は、法人・団体運営やNPOの活動内容や連絡先に関する相談が多かった。専門性が高いものは専門相談につながるなどし、正確な情報を伝えるように心がけた。

⑤ NPOの促進・団体内の育成等に関する業務

i) NPO運営のためのマネジメント講座

NPOの運営一般、人材育成に関する「NPOマネジメント講座」を、6講座開催した。

	講座名	講師	日時	参加者数
1	人間関係のトラブルを防ぐしくみづくり講座	富樫敦子氏(特定社会保険労務士)	平成30年6月29日(金)14:00~16:00	24
2	NPOのための助成金申請のポイント講座	大久保朝江(みやぎNPOプラザ館長)	平成30年7月25日(水)14:00~16:00	29
3	基礎から学ぼう! NPO法人設立申請講座	堀川晴代(みやぎNPOプラザ副館長)	平成30年11月9日(金)14:00~16:00	30
4	NPO法人の理事会運営のポイント	大久保朝江(みやぎNPOプラザ館長)	平成30年12月14日(金)13:30~15:30	19
5	認定取得への第一歩! 認定NPO法人講座	大久保朝江(みやぎNPOプラザ館長)	平成31年1月31日(木)14:00~16:00	16
6	早めの準備で迎えよう! NPOのための総会運営講座	大久保朝江(みやぎNPOプラザ館長)	平成31年3月8日(金)14:00~16:00	21

参加者合計 139

平均 23.2

ii) NPOの会計・税務・決算等の講座

NPOの会計・税務に関する「NPOのための会計税務講座」を、6講座開催した。

	講座名	講師名	日時	参加者数
1	NPOのための会計監査講座 ~プロが伝える、監査のやり方・受け方~	橋本潤子氏(公認会計士)	平成30年4月18日(水)13:30~16:30	23
2	基礎から学ぼう! NPO・市民活動団体のための会計初級講座	小野恵子氏(会計サポーター)	平成30年5月25日(金)13:30~16:30	28
3	不正が起きない! お金の管理のしくみ講座	成田由加里氏(公認会計士・税理士)	平成30年9月29日(土)13:30~16:30	23
4	基本を押さえる! NPOのための税金初級講座	平野由紀子氏(税理士)	平成30年10月24日(水)13:30~16:30	27
5	NPOのための決算書作成初級講座in岩沼	小野恵子氏(会計サポーター)	平成31年2月14日(木)13:00~15:30	23
6	NPO法人のための決算書作成講座	田中武司氏(税理士)	平成31年3月22日(金)13:30~16:30	19

参加者合計 143

平均 23.8

⑥ NPOに関する行政職員の理解促進事業

行政職員を対象に、NPOを取り巻く環境や基礎的な理解を深めるため、年1回開催している。

	講座名	講師	日時	参加者数
1	行政職員のためのNPO理解講座	大久保朝江(みやぎNPOプラザ館長)	平成30年5月16日(水)13:30~15:30 ※宮城県庁1階みやぎ広報室で開催	61

⑦ NPO支援施設および中間支援組織の育成支援事業

宮城県内のNPO支援施設や支援組織のスタッフを対象に、NPO支援に必要なスキルを学び、情報交換し共有することで、宮城のNPO支援力を高める機会を提供した。

i) NPO支援センター研修

	講座名	講師	日時	参加者数
1	NPO支援のあり方を探る基礎研修	大久保朝江(みやぎNPOプラザ館長)	平成30年8月31日(金)11:00~16:30	15

ii) NPO支援センターとの連携および育成支援

みやぎNPOプラザの情報誌「One to One」で、毎号に県内の市民活動支援センターの活動状況を紹介したほか、県内のNPO支援施設が主催するイベント等に参加した。

⑧ みやぎNPOプラザNPOフォーラム

NPOのさらなる活性化に向けて、NPOへのボランティア参加の意義や、市民参加を進める方法を探るフォーラムを開催した。

	講座名	講師	日時	参加者数
1	平成30年度みやぎNPOフォーラム NPOで活動する人たちのための大交流会 「ボランティアと創る、NPOの未来」	【講演講師】 後藤麻理子さん(認定NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会理事・事務局長) 【事例紹介ゲスト】 清水福子さん(認定NPO法人あかねグループ理事長) 小椋亘さん(NPO法人ふうどばんく東北AGAINスタッフ)	平成31年1月26日(土)13:30~17:00	35

⑨ ボランティア育成事業

i) 市民活動サロン

これまで市民活動と無縁だった市民を対象に、市民活動とは何か、NPOとはどのような組織かを知ってもらい、市民活動やNPOへの理解を促し、支援者・実践者として市民活動へ参画してもらう入口とする。

	講座名	ゲスト	日時	参加者数
1	Nカフェ ～NPOで活動するヒント～	柴崎由美子さん(NPO法人エイブル・アート・ジャパン代表理事) 新田貴之さん(NPO法人仙台夜まわりグループ施設部長) 吉村松二さん(NPO法人アマニ・ヤ・アフリカ副理事長)	平成30年10月27日(土)13:30~16:30	17
2	Nカフェ ～NPOに参加する方法をみつけよう!～	植村千枝さん(NPO法人青葉山の緑を守る会理事) 佐藤宏美さん(NPO法人おりざの家理事長) 反田恵美子さん(外国人支援の会OASIS代表)	平成31年2月23日(土)13:30~16:00	18

⑩ みやぎNPOプラザ運営評議会の開催

宮城県民間非営利活動プラザ運営評議会設置要綱に基づき、年2回開催した。

- ・第1回：6月1日(金)10:00~12:00
- ・第2回：3月15日(金)13:30~15:30

⑪ 調査及び研究業務

宮城県が所轄するNPO法人の資金調達等の実態を調査し、さらに効果的な資金調達支援を検討するため「NPO法人の資金調達方法に関する調査」を実施し、報告書をみやぎNPO情報ネットにおいて公開した。

⑫ その他、施設の設置目的を達成するための企画業務

i) 利用者懇談会の開催

みやぎNPOプラザのよりよい活用を検討するため、日頃から使用している団体との意見

交換および利用団体間の情報交換の場として開催。

- ・第1回：9月26日（水）18：30～20：00
- ・第2回：2月8日（金）18：30～20：00

ii) NPOの書籍販売代行

NPOの情報を広く伝えるため、NPOが発行した書籍等の販売を代行した。受託団体は指定管理者を含む9団体。書籍の種類は15種類で、59冊販売した。

【事業成果】

- ・法人事務局との連携を常に意識し、特にNPOの組織基盤整備に係る事業は、プラザで実施するものに限らず、NPOに広く情報を提供した。特に会計サポーター事業については、会計税務講座や会計税務相談の利用者にも情報を提供し、各団体の正確な決算書作成につなげた。
- ・講座等の参加者数は、昨年度を上回った。

7. NPO等連携事業

(1) 真如苑「みやぎの居場所づくり助成」事業の事務局運営

- ・第4回「みやぎの居場所づくり助成」
募集期間：4月～5月15日
応募団体数：10団体
審査会：2018年5月29日
助成団体決定：6団体

(2) みやぎNPO情報公開システム運用協議会事務局業務

2012年に構築したNPOの検索システム「みやぎNPOナビ」のシステム運用協議会の事務局を担当した。

構成団体：仙台市、気仙沼市、栗原市、登米市、石巻市、大崎市、名取市
認定NPO法人杜の伝言板ゆるる、NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター、
NPO法人いしのまきNPOセンター
2018年5月31日 NPO情報公開システム運用協議会総会
2018年10月16日 NPO情報公開システム運用協議会運営委員会

(3) 「NPO法20周年記念フォーラム in 東北」を開催

日本に市民社会を根付かせることを目的としたNPO法は、NPO法制定/施行から20周年を迎えた。「日本に市民社会を根付かせる」という社会活動は、どこまで達成できたのか。ローカルな視点で考え、議論する場をつくり、次の20年につなげていくために、東北各県のNPO支援組織による実行委員会をつくりフォーラムを開催した。当法人が事務局を担った。

開催日時：2018年11月1日（木）13:30～17:30

会場：河北新報社本館ホール

内容：「NPO法が東北にもたらした市民社会、これまでの20年とこれからの20年」

[第1部] 社会を変えようとしたNPO法の意義 13:30～

松原 明（認定 NPO 法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会理事）

[第 2 部] これまでの 20 年、市民社会は根付いたか 14:35～

大久保朝江（認定 NPO 法人杜の伝言板ゆるるの代表理事）

大泉 大介（河北新報社営業局営業部次長）

小笠原秀樹（NPO 法人あおもりラジオくらぶ 理事）

[第 3 部] 未来へ向けて一緒に考えよう！社会を変える NPO のチカラ 15:45～

永田 賢介（NPO 法人アカツキ 代表理事）

富永 美保（NPO 法人しんせい 理事・事務局長）

白石 洋和（NPO 法人 with 優 代表理事）

小野寺浩樹（NPO 法人レスパイトハウス・ハンズ/いちのせき市民活動センター長）

参加者数：120 名

主催：NPO 法 20 周年記念プロジェクト東北実行委員会

構成団体：認定 NPO 法人杜の伝言板ゆるる、NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター、
認定 NPO 法人あおもり NPO サポートセンター、NPO 法人いわて NPO フォーラム 21、NPO
法人あきたパートナーシップ、NPO 法人山形の公益活動を応援する会・アミル、NPO 法人
山形創造 NPO 支援ネットワーク、認定 NPO 法人ふくしま NPO ネットワークセンター

共催：河北新報社 日本政策金融公庫 NPO 法 20 周年記念プロジェクト

後援：宮城県、青森県、秋田県、岩手県、山形県、福島県、仙台市

助成：公益財団法人トヨタ財団

（4）その他

① 明治ホールディングスお菓子寄贈プログラム 寄贈団体コーディネート

障がいのある子どもたちへの支援活動をしている NPO および被災地で子どもたちへの支援活動
をしている NPO、合わせて 3 団体を推薦し、決定。

8. その他の支援事業

（1）宮城県 NPO 等の絆力を活かした震災復興支援事業（受益者アンケート業務委託）

（委託先：宮城県）

NPO 等の復興・被災者支援の活動が今後も継続されるよう、NPO 等の復興・被災者支援の活動
に関する効果を把握するため、今年度、本事業を活用して行われている復興・被災者支援の活動
について、活動を通じて支援を受けられた方（受益者）を対象としたアンケートを実施し、受益
者の方々が支援を受けられたことによる効果等を把握するもの。

県からのフォーマットに入力する作業であった。

事業期間：2018 年 11 月 20 日～2019 年 3 月 29 日

アンケート協力団体：18 団体（分野別 20 件）

分野：心のケア、見守り、生活支援

子育て支援、コミュニティ形成支援、中間支援

【事業成果】

NPO 等の支援が良い効果を生み、今後も必要とされている現状が見られた。

(2) NPOの基盤整備に関する書籍類の紹介及び販売

NPOの理解促進及び運営基盤強化につながる冊子等をNPOに販売した。

冊子名	発行者(団体)
NPO会計基準完全収録版第2版	NPO法人会計基準協議会
会計基準ハンドブック	認定NPO法人NPO会計税務専門家ネットワーク
知っておきたいNPOのこと「基礎編」	NPO法人日本NPOセンター
知っておきたいNPOのこと3「協働編」	NPO法人日本NPOセンター
知っておきたいNPOのこと4「参加編」	NPO法人日本NPOセンター
知っておきたいNPOのこと5「評価編」	NPO法人日本NPOセンター
NPO法人のための業務チェックリスト	認定NPO法人NPO会計税務専門家ネットワーク
NPO会計日誌	NPO支援東京会議
会計ソフト「会計王」NPO法人スタイル	ソリマチ株式会社
「Q&A NPO会計マニュアル」	認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

9. 他団体との連携や政策提言

(1) 多様な団体と連携した活動

① NPO法人会計基準協議会

世話団体及び幹事団体として、会計基準の普及に取り組んでいる。

- ・ 内閣府が主催するNPO所轄北海道東北ブロック(開催地:青森市)にて、東北・北海道のNPO支援組織と共に出席し、2017年12月に改正したNPO法人会計基準の改正点について解説及び意見交換した。

開催日:2018年9月27日

開催場所:青森市 アスパム

② 日本NPOセンター関連

- ・ 民間NPO支援センター・将来を展望する会(CEO会議)

全国のNPO支援センターの代表や事務局長が、NPOを取り巻く全国の情報や取り組み事例などをテーマに話し合い、地域のNPO支援に活かしている。

開催日:7/26~27 2/14~15

- ・ NPO法20周年記念フォーラム(市ヶ谷)

開催日:2018年11月21日 大久保代表が登壇

- ・ 市民セクター全国会議2018

隔年開催される非営利セクターのフォーラムに参加 11/22~23

③ NPOの法制度等改革推進会議

- ・ NPO法制度等改革を全国区で進めて行くにあたり、全国の中間支援組織がネットワークを組み、世話団体会幹事団体として取り組んでいる。

総会 2018年6月15日 出席

④ みやぎソーシャルビジネス支援ネットワーク

宮城県の地域課題をビジネスの手法で取り組むソーシャルビジネス団体を支援する組織「みやぎソーシャルビジネス支援ネットワーク」の構成団体として、NPOの基盤整備に繋がる取り組みをしている。

2018年4月23日開催の会議に出席

2018年3月26日にメディアテークで開催した「NPO等の絆力を活かした震災復興支援事業報告会及び交流会」にて、相談対応のため参加した。

構成団体：宮城県、仙台市、日本政策金融公庫、東北税理士会、宮城県行政書士会、NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター、NPO 法人杜の伝言板ゆるる

⑤ かほく「108」クラブ

河北新報社とその関連12社で作る社会貢献団体かほく「108」クラブの助成金『かほく「108」ファンド』のNPOへの広報協力や、選考審査委員としてサポート。

NPOで高校生の夏ボラ体験プログラムでは共催団体となって資金支援を受けている。

⑥ 休眠預金活用に関する意見交換及び提案

2019年度に始まる休眠預金等活用制度に関し、審議会及び内閣府からの方針に意見を述べるため、全国の中間支援組織を中心とした団体リーダーが集結し、行動を起こした。

- ・ 7月26日 緊急集会「みんなの休眠預金をどうするのか！指定活用団体決定前の今こそ語り合おう」を開催
- ・ 9月21日 意見書「休眠預金等に係る資金の活用に関する意見」を公開
- ・ 1月13日 「休眠預金等活用法のあり方を考えよう！」開催（共催：せんだい・みやぎ NPO センター）

⑦ その他NPO関連役員等

- ・ NPO 法人パートナーシップなとり 理事
- ・ NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター 評議員
- ・ 認定 NPO 法人あかねグループ 評議員

⑧ 会員として連携

- ・ NPO 法人会計基準協議会
- ・ NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター
- ・ NPO 法人日本 NPO センター
- ・ NPO 法人いしのまき NPO センター
- ・ NPO 法人とめ市民活動フォーラム
- ・ NPO 法人パートナーシップなとり

(2) 審議会・委員会等の委員

行政や民間の審議会や委員会、評議会などの委員として市民活動・NPOの立場から提言した。

- ① 国：東北行政評価局会議行政に関する懇談会（大久保）2018年度欠席
- ② 宮城県：宮城県防災会議委員（大久保）2月8日出席
宮城県民間非営利活動促進委員会（堀川）9月4日、3月27日出席
- ③ その他：（公財）宮城県国際化協会評議員（大久保）6月20日出席
（公財）仙台観光国際協会評議会（大久保）6月12日出席
せんだい豊齢学園運営委員会（大久保）12月13日出席

(3) 助成金等審査員

行政や民間の助成や補助事業に審査員を派遣し、支援組織としての視点から審査に加わった。

- ・ （公財）仙台観光国際協会助成金審査会 6/12 9/11 12/11

- ・ (一財)愛知揆一福祉財団「みやぎ社会貢献大賞」審査会 1次:11/19 2次:12/7
- ・ 宮城県商工会小規模企業広域活性化事業委員会 6/13
- ・ 加美町協働のまちづくり助成報告会・公開審査プレゼンテーション 5/13
- ・ かほく「108」ファンド助成先選考審査会 5/22
- ・ COOPトリプルカードみやぎスマイル基金 3/7
- ・ 真如苑みやぎの居場所づくり助成審査 5/29

Ⅲ 組織運営に関する事項

1. 総会の開催

2018年度通常総会を開催

開催日時：2018年5月27日（日）14：00～16：00

場所：みやぎNPOプラザ

議案：第1号議案 2017年度事業報告及び決算の承認

第2号議案 2018年度事業計画（案）及び予算（案）の審議及び議決

第3号議案 役員改選の審議及び議決

2. 理事会の開催

開催日：第149回 4月28日～29日 理事会及び合宿（茂庭荘）

理事の提案事業の委任とその責任及び経費について

これからの事業方針

第150回 5月19日 総会に向けて2018年事業報告及び2019年度計画 役員推薦

第151回 6月27日 代表理事及び副代表理事の互選

第152回 8月1日 県委託事業、指定管理事業への応募、HPサーバー変更について

第153回 8月30日 指定管理事業への応募、HPサーバー変更について

第154回 9月29日 指定管理事業、事務局体制、休眠預金関連

第155回 10月30日 宮城県の委託事業、次年度の事業方針

第156回 11月30日 みやぎNPOプラザ指定管理事業の予算見直し

第157回 12月26日 次年度への事業方針及び体制

第158回 1月22日 特別休暇について、2019年度の事業方針及び体制

第159回 2月28日 次年度へ職員体制と3月末の特別手当、2019年度事業

第160回 3月27日 職員の雇用契約、役員の執行責任の範囲及び報酬

3. 会議

(1) 事務局スタッフ及びみやぎNPOプラザスタッフ合同ミーティング

毎月第1月曜日に開催（年始・連休時を除く）し、今年度は全12回開催。

開催日：4月2日、5月7日、6月4日、7月2日、8月6日、9月3日、

10月1日、11月5日、12月3日、1月7日、2月4日、3月4日

(2) その他

編集会議、事務局会議、みやぎNPOプラザ管理職ミーティングを随時開催

4. 組織の広報及び理解促進

(1) ホームページ等のサーバー変更及びリニューアル

2018年10月に法人のホームページをリニューアルした。

これまでのASJサーバーからさくらインターネットにサーバーを移管した。

情報発信については、杜の伝言板ゆるるのホームページ (<http://www.yururu.com/>)・ブログ (<http://blog.canpan.info/yururu>) を活用し、組織の情報公開を進めた。

ホームページ/お知らせ 24件	事務局ブログ 74件
-----------------	------------

(2) ゆるる通信の発行

杜の伝言板ゆるるの法人全体の活動を伝える「ゆるる通信」を隔月で発行。

発行日：6月1日、8月1日、10月1日、12月1日、2月1日

発送先：正会員・賛助会員・月刊ゆるる発送先

掲載内容

6月号	理事コラム	2018年度総会で新たな決意 <代表理事 大久保 朝江>
	記事	●より良いプラザを目指して新年度がスタート！ ●イラレ初挑戦！ ●真如苑「居場所づくり助成」の助成団体が決定しました！ ●新スタッフ紹介
8月号	理事コラム	新任理事として <理事 石田 祐>
	記事	●「高校生の夏ボラ事前学習会」開催！ ●2日間の初任者研修会 ●プラザに入居団体紹介コーナーを設置！ ●プラザの新スタッフです！
10月号	理事コラム	13年間のみやぎNPOプラザ運営を通して <理事 堀川 晴代>
	記事	●「夏ボラ体験 2018」終了!! ●プラザ利用者懇談会盛り上がりました！ ●事務局の新スタッフです！
12月号	理事コラム	理事就任にあたって <理事 渡邊 桂子>
	記事	●スタッフ1年生奮戦記 ●初めての講師デビュー!! ●NPO法人のための組織運営力強化プログラム開催中！ ●今年はエル・パークの職員がゆるるにNPO留学！ ●年末年始の閉局のお知らせ
2月号	理事コラム	遅れての謹賀新年<代表理事 大久保 朝江>
	記事	●山形の高校生がNPOプラザを見学 ●夏ボラ体験談集 2018、完成!! ●NPO法人のための組織運営力強化プログラム セルフチェックで組織強化セミナー ●2018年ボランティア納会

(3) 新聞等の掲載

① 記事掲載 4件

日付	媒体	内容
10/19	河北新報朝刊	「NPO法20年歩み紹介」 来月1日仙台でフォーラム
11/2	河北新報朝刊	「NPO在り方再議論を」 法施行20年でフォーラム
12/4	河北新報朝刊	「市民の力 NPO法施行20年」 不正の芽摘む知識を
3/19	河北新報夕刊	「縁の下での力持ち」

講座・イベント告知 42件

② 寄稿

発行月	冊子名	発行	タイトル
2018.2	ウォロ	大阪ボランティア協会	東日本大震災 石巻発 現地から伝える「被災地の今」

5. 会員

正会員 40団体・個人

賛助会員 86団体・個人

(2019年5月15日現在)

6. 事務局員体制

(1) 杜の伝言板ゆるる事務局（宮城野区榴岡 3-11-6）

事務局長：1名（兼務）

常勤職員 2名、非常勤職員 1名（2018.4～8）

(2) みやぎNPOプラザ勤務（宮城野区榴ヶ岡 5）

館長：1名

常勤職員：6名（運営スタッフ5名・情報担当1名）

非常勤職員：1名

7. ボランティア

ボランティア実働者数：11人

総時間数：下記の通り（昨年度はのべ424.5時間、のべ175人）

	事務局	月刊ゆるる 発送	みやぎNPOプラザ		
			データ 入力	事務 サポート	催事 サポート
時間	157	100	106.5	5	1
人数	58	40	34	1	4

※のべ総時間数：369.5時間／のべ総人数：137人

8. 寄付

真如苑からの500,000円や8個人/団体からの寄付を合わせて541,000円の寄付があったほか、イオン仙台店のイエローレシートキャンペーンで74,900円のギフトカードを頂いた。今年度の寄付金等は、ゆるるinfoの発行ほか、夏ボラ体験の活動に使用した。

9. 職員研修

業務上必要なスキルを習得するため、内外の研修に参加した。

研修においては、みやぎNPOプラザでのNPOに関する講座や事務局事業の講座で10回、延べ35人の職員が学んだ。

研修日	研修名	主催団体	参加数
6月7日	普通救命講習I	文化財課分室	3名
6月26日 ～27日	NPO支援センター初任者研修会（東京）	認定NPO法人日本NPOセンター	1名
10月22日	ボランティアコーディネーター研修	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会みやぎボランティア総合センター	1名
11月1日	NPO法20周年記念フォーラム in 東北	NPO法20周年記念プロジェクト東北実行委員会	4名
11月6日	宮城県プロボノ事業「コーディネーター育成研修」	宮城県	3名
11月21日	NPO法施行20周年記念フォーラム（東京・市ヶ谷）	同実行委員会（シーズ・市民活動を支える制度をつくる会、日本NPOセンター、まちぼっと）	1名
11月22日 ～23日	市民セクター全国会議2018（東京）	認定NPO法人日本NPOセンター	1名
12月4日	宮城県プロボノ事業「講演会及びNPO×企業等の交流会」	宮城県	2名

認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

1月10日	ボランティアコーディネーター研修	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会みやぎボランティア総合センター	1名
1月10日	休眠預金等活用法のあり方を考えよう！	認定NPO法人杜の伝言板ゆるる、NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター	2名
1月13日	宮城県プロボノ事業「1日プロボノ」	宮城県	1名
2月21日	暴力団対策法に基づく不当要求防止責任者講習	宮城県公安委員会、公益財団法人宮城県暴力団追放推進センター	1名
2月28日 ～3月1日	テーマ別研修「共感から支援につながる広報を学ぶ」	認定NPO法人日本NPOセンター	1名